



朝来市議会

議会だより 第41号

2013(平成25)年8月5日発行

国登録文化財 進藤家住宅(千年家) 佐囊

■第24回(5月)臨時会 ■第25回(6月)定例会

5月臨時会議案審議／政務調査費	2～3
6月定例会議案審議／賛否の状況	4～5
請願審査／管外視察報告	6～7
議会報告会	8～9
市政を問う／一般質問	10～15
所管事務調査／特集 輝け!!朝ガール	16



▲コウノトリ放鳥(7/18)

問題に終止符

6 億 5 千万円を可決！

5月臨時会が5月20日に招集され、市長から条例改正、補正予算に係る専決処分承認、25年度一般会計を6億5千万円増額する補正予算、教育委員の任命及び監査委員の選任並びに財産区管理会委員の選任について提案され、いずれも全会一致で承認、可決及び同意しました。

また、選挙管理委員会委員及び補充員、兵庫県後期高齢者医療広域連合協議会議員の選挙を行いました。

補正予算は、基金運用として保有していた仕組み債17本（額面46億円）の満期前早期売却に伴う割引料5億1千万円、基金運用の一環として契

約していた指定金銭信託契約3契約（額面12億円）の解約に伴う手数料1億4千万を追加するもので、財政調整基金の繰入金により措置するもの。このことから、基金総額は6億5千万円減少するが、既得利金の総額が約8億3千万円あり、実質的な損害はないとしています。

主な質疑

問 これまで受けた利金を通算すると損失は発生しないようだが、仕組み債等の債券に清算金等を出すことで批判が出るかもしれない。あるいは、損失が発生させ不利益を出す可能性があり、訴訟のリスクもあると言われている。予算措置によって、そうしたことを説明すれば市民から批判は出ない、あるいは訴訟のリスクも回避できるということが断言できるのか。

答 仕組み債の商品全体を見た場合、過去の利金も含め差

し引きし、トータルで当時の購入した金額を上回っており、損失に当たらないと理解している。

問 補正予算が可決された場合、仕組み債の売却や指定金銭信託の解約にどの程度期間を要するのか。

答 指定金銭信託は、今まで解約をしたケースがないため、1週間から2週間程度かかるようである。仕組み債は市場性があり、証券会社等売り手側に商品を買ってもらうのも1つの選択肢であるが、それ以外の銀行等に見積りをとり、できるだけ有利な値段で買ってもらう方法にすると数日かかる。

問 仕組み債の売却、指定金銭信託の解約について、どのように市民周知をし、理解を得るのか。

答 直近の広報で説明をしていきたい。

平成24年度 政務調査費収支報告一覧

(単位：円)

		清風の絆	立志会	日本共産党議員団	朝来市議会公明党	みらい	新風朝来会	合計
人数	H24.4月～H24.9月	7人	6人	2人	1人	1人	2人	19人
	H24.10月～H25.3月		5人					18人
収入	政務調査費	840,000	660,000	240,000	120,000	120,000	240,000	2,220,000
	計	840,000	660,000	240,000	120,000	120,000	240,000	2,220,000
支出	調査旅費	128,975	651,060	0	60,495	42,130	176,190	1,058,850
	研究研修費	448,010	0	0	70,130	25,800	0	543,940
	資料作成費	0	0	0	0	0	255	255
	資料購入費	0	8,805	4,830	1,799	60,690	8,000	84,124
	広報費	0	0	239,133	0	0	0	239,133
	広聴費	0	0	0	0	0	0	0
	その他の経費	0	0	0	0	0	0	0
	計	576,985	659,865	243,963	132,424	128,620	184,445	1,926,302
収支差引残額		263,015	135	△ 3,963	△ 12,424	△ 8,620	55,555	293,698
(実質政務調査費額)		(576,985)	(659,865)	(240,000)	(120,000)	(120,000)	(184,445)	(1,901,295)

※政務調査費は、市議会政務調査費の交付に関する条例に基づき、議員の調査研究に必要な経費の一部として、各会派に対して政務調査費を交付しています。交付額は各会派の議員1名当たり月1万円です。

仕組み債等の売却・解約完了までの経緯については、「広報朝来7月号」にて掲載されています。

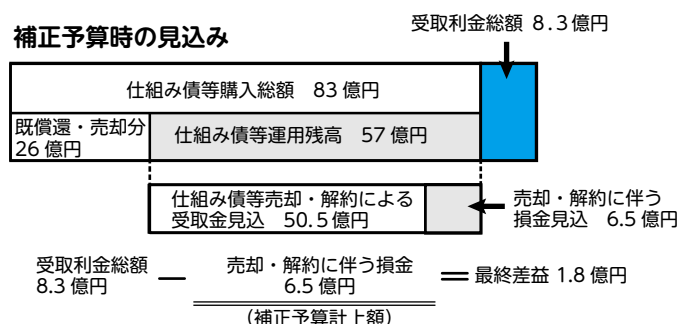
仕組み債購入

売却・解約へ向けて補正予算

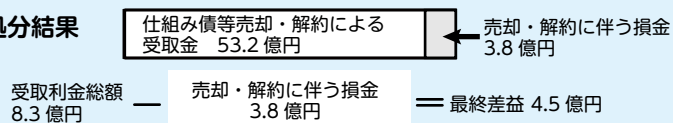
仕組み債等の売却・解約による処分結果

平成18年6月から平成20年8月までの間に購入契約した全ての仕組み商品(仕組み債、指定金銭信託)は、6月7日までに解約・売却手続きが完了しました。

補正予算時の見込み



処分結果



※補正予算により仕組み債売却・解約に伴う損金を6.5億円措置しましたが、その後に円安が進行した結果、損金は3.8億円に減少しました。

問 5月初旬の段階で元金の毀損分は約5億円という説明があったが、補正予算では1億5千万円追加され、6億5千万円の元金補填となっている。余分に追加された理由は。

答 解約や売却時の為替相場の変動リスクを見込んで追加した。

問 保有している外国債、指定金銭信託の全てを早急に処分される考えだが、売り手証

答 処分方法について、買い取ってもらう金融業者の範囲など基準をつくる中で進めていく必要があると思っている。高く買い取ってくれるところ

人事案件(5月臨時会、6月定例会) (敬称略)

任期満了に伴う教育委員の任命、副市長及び監査委員の選任について、全会一致で同意しました。

【副市長】(任期 平成25年6月16日から4年間)

松本 忍(生野町柝原)

【教育委員】(任期 平成25年5月24日から、垣尾氏は平成25年6月1日からそれぞれ4年間)

照山智浩(山東町大月)、垣尾幸博(和田山町和田山)

【監査委員】(任期 平成25年5月24日から4年間)

松田理明(東京都中野区)

欠員となっている固定資産評価員の選任について、全会一致で同意しました。

【固定資産評価員】(任期 平成25年6月24日から)

松本 忍(生野町柝原)

任期満了に伴う次の選挙が行われ、それぞれ当選されました。

【選挙管理委員会委員】(任期 平成25年5月23日から4年間)

吉成 恵(生野町小野) 山本慎司(和田山町岡田)

福島賢次(山東町栗鹿) 山田典夫(佐々)

【選挙管理委員会補充員】(任期 平成25年5月23日から4年間)

安東政士(生野町口銀谷) 清水 司(岩津)

尾川幸雄(和田山町寺内) 足立 豊(山東町末歳)

【兵庫県後期高齢者医療広域連合議会議員】

多次勝昭

財産区管理委員会委員の選任 (敬称略)

任期満了に伴う生野財産区管理会の委員の選任について、全会一致で同意しました。

【生野財産区管理委員会委員】

竹村俊彦(口銀谷) 早草恭二(竹原野) 美濃増夫(黒川)

竹村敬次(円山) 藤原 優(真弓) 杉本英治(柝原)

能見勇八郎(口銀谷)

提出23案件を慎重審議

6月定例会は、6月14日から7月9日までの26日間の会期で開き、市長から提出された暴力団排除条例、景観審議会条例、補正予算、工事請負契約の締結、市職員の給与の臨時特例に関する条例など23件を審議しました。

このうち、最終日に提案された水道事業会計決算の認定、工業用水道事業会計決算の認定については、閉会中の審査となりました。

暴力団排除条例制定

安全で安心な市民生活を確保するため、暴力団の排除に関し、基本理念を定め、市、市民及び事業者の責務を明らかにするとともに、暴力団の排除に関する施策等を定めるため制定するもの。

最終日の本会議において、全会一致で可決されました。



▲暴力団を排除しよう

主な質疑

問 市の責務として、暴力団の排除に関する施策を実施するとされているが、どのようなことを想定されているのか、これまでに事例があれば伺いたい。

答 外郭団体に防犯協会等もあり、防犯大会等が開催をされているが、この条例制定に基づいて、施策に取り組んでいきたい。

問 全国での暴力団排除条例の制定状況は。また、兵庫県内の状況はどうか。

答 全国の場合は、47都道府県のうち30都道府県で制定されていると聞いている。

兵庫県内の状況は、41市町のうち40市町で既に制定されている。朝来市が一番最後という状況である。

市職員の給与の臨時特例に関する条例制定

国家公務員の給与減額支給措置を踏まえ、地方公務員の給与についても国に準じて必要な措置を講じるよう政府からの要請されたことに伴い、市職員の給与水準と国家公務員給与との均衡を図るもの。加えて平成25年度の地方交付税の給与費が減額されることを考慮し、国家公務員の給与減額に倣い、本市の特別職及び一般職の給与を減額するために、臨時特例的に条例を制定するもの。



反対討論

職員給与の定め方はこれまで国の人事院勧告に準じて職員組合などとの交渉で行う手法であったが、今回は昨年から行われている国家公務員の人事費削減と同様に、人事院勧告を無視して国の要請に基づいて一律に行われるもので、全く働く人の権利を無視するものだ。

賛成討論

地方公務員も国家公務員並

みに給与の削減をという政府の要請に基づいたもの。組合との話し合いのもとに、今回の条例が提案されている。

反対討論

地方分権を進めながら一方で地方交付税の減額という形で地方の判断を強要する国のやり方は理解できない。

賛成討論

給与削減を行わない自治体は、財力に余裕があるとみなされ、来年度以降の地方交付税を減額される。市にとって一番財源が確保できるのは、この要請を受け入れることだ。

反対討論

経済対策として国民に消費を促すとして、民間企業に対して雇用の確保や給料のアップを総理大臣みずから要請しながら、片方で公務員の給料の減額をしていく、これはまさに矛盾そのものだ。

国民健康保険税条例の一部改正

平成25年度の国民健康保険税について、国民健康保険運営協会の答申に基づき、賛成多数

で可決しました。

医療給付費分及び後期高齢者支援金分を合わせた1世帯当たりの賦課額は、11万8,800円(6,600円の引き上げ)。また、介護納付金分は1人当たり2万7,800円(800円の引き上げ)となります。



反対討論

世帯平均11万2,200円から6,600円引き上げで、昨年の6千円引き上げに続いて厳しいものとなっている。夫婦2人世帯の平均では年間1万円を超える値上げとなる。協議会の答申に「健全で持続可能な医療保険制度として維持していただきたい」とあるが、負担増加を強いる制度が、本当に健全なのか大いに疑問である。

賛成討論

「国民健康保険財政安定化計画」に基づく対応である。国保運営協議会では保険税のアップを抑制すべく、あらゆる角度から検討された結果として算定され、金額が妥当と判断している。

5月臨時会及び6月定例会で審議した議案に対する賛否の状況

※賛否の分かれた議案のみ

議 案 名 \ 議 員 名	岡田和之	鈴木逸朗	村田公夫	大田垣強	木村圭介	横尾正信	坪内一由	吉田俊平	日下茂	上谷廣志	渕本稔	山本正之	波多野優	中島利信	丸尾行子	太田則之	能見勇八郎	吉田富郎	上道正明
市職員の給与の臨時特例に関する条例制定について	×	×	○	○	○	○	欠	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	※
国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

賛成した議案は○ 反対した議案は× 採決の際に欠席した議員は欠 ※議長には表決権がありません。

全会一致で可決した主な議案

件 名
専決処分の承認を求めることについて（市税条例の一部を改正する条例制定について）
専決処分の承認を求めることについて（市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について）
専決処分の承認を求めることについて（一般会計補正予算（第1号）について）
兵庫県市町交通災害共済組合を組織する地方公共団体の数の減及び規約の変更について
景観審議会条例制定について
高齢者共同生活の家の指定管理者の指定の変更について
平成25年度一般会計補正予算（第3号）について
平成25年度下水道事業特別会計補正予算（第1号）について
平成24年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
損害賠償の額を定めることについて

継続審査となった議案

件 名
平成24年度水道事業会計決算の認定について
平成24年度工業用水道事業会計決算の認定について

工事請負契約の締結について

- 和田山中学校校舎改築・地震補強大規模改造2期工事
【契約金額】7億1,505万円
【契約の相手方】但南・田中特別共同企業体
代表者 但南建設(株) 代表取締役 衣川二郎
- 梁瀬小学校校舎改築大規模改造工事
【契約金額】4億215万円
【契約の相手方】但南建設(株) 代表取締役 衣川二郎



▲和田山中学校



▲梁瀬小学校

公立豊岡病院組合
議会報告

第2回臨時会
平成25年6月26日

特別職及び職員の給与の臨時特例に関する条例制定、補正予算が審議され、いずれも可決されました。
議案は、特別職の給料月額を10%減額、期末手当を5%減額、一般職の給料月額を職給に同じ減額するもの。
また、給与減額に伴う補正予算を計上するものです。

請願を採択し、意見書を提出！

■ 朝来市が原子力防災・避難計画の策定を調査・検討することについての請願

今年3月に、朝来・そらたね会（代表 大森げん氏、大森梨紗子氏）から提出された請願（横尾正信議員紹介）で、総務常任委員会で審査を行いました。

請願は、東日本大震災による福島原発事故を踏まえ、福井県内の原子力発電所で事故が発生した際の影響について検証・調査を行うとともに、原子力防災・避難計画の策定について調査・検討するよう



▲視察調査を実施しました（篠山市）

市長に求めるもの。

委員会では、請願者から趣旨を聴取するとともに、篠山市、京都府福知山市へ視察調査を行い、慎重審議の結果、この請願を採択する審査報告が行われ、本会議においても全会一致で採択しました。

■ がん対策・支援に関する請願書

リレー・フォー・ライフ但馬実行委員会（委員長 坂本初美氏）から提出された請願（吉田俊平議員紹介）で、文教民生常任委員会でも審査を行いました。

請願は、自分らしく生きる権利と生活の質の確保、がんに関する医療費補助と医療保険適用拡大、新薬開発の更なる推進と承認期間の短縮、がんに関する正しい知識の普及と子どものがん教育や患者支援などの教育体制の充実が主な内容。

委員会の審査では、朝来市でがんが直接の死因として大きな影響があること、および

がん対策・支援に関する意見書

1. 生活支援に関すること

自分らしく生きる権利と生活の質の確保のため、生活支援・就労支援・相談体制・サポート体制などの法整備と施策の充実を図ること。

2. がん医療の充実に関すること

医療保険適用の拡大、新薬開発のさらなる推進と承認期間の短縮、地域医療・緩和ケアの提供体制の充実などの法整備と施策の充実を図ること。

3. 知識の普及と教育に関すること

がん患者への理解も含め、がんに関する正しい知識普及と、子どもに対するがん教育の在り方等を検討するとともに、がん教育の体制充実を図ること。

4. がんの早期発見に関すること

がん死亡率の減少やがん患者の生活の質の向上を目的として、精度が高く受診しやすい科学的根拠に基づいたがん検診を実施し、受診率が向上する施策の充実を図ること。

【提出先】

内閣総理大臣、厚生労働大臣、兵庫県知事

少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度 2分の1復元に係る意見書

1. 少人数学級を推進すること。具体的学級規模は、OECD諸国並みの豊かな教育環境を整備するため、30人以下学級とすること。

2. 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに国庫負担割合を2分の1に復元すること。

【提出先】

内閣総理大臣・文部科学大臣・財務大臣

■少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択について

兵庫県教職員組合朝来支部（支部長 嶋田 豪氏）から提出された請願（中島利信議員紹介）で、文教民生常任委員会にて審査を行いました。

請願の内容は、社会状況等の変化により、一人ひとりの子どもに対するきめ細かな対応が必要な中、現在の多人数の学級運営では十分な教育的効果をあげられない、質の確保もできない。OECD諸国並みの豊かな教育環境を整備するためには、30人以下の学級が望ましいというもの。

朝来市では、少子化の影響で都市部のような大人数の詰め込み学級の現状にはないが、先進国の状況や国内のベテラン教師等が主張するように、20人台の学級が教育の効果を最も上げるようである。義務教育費の国庫負担制度は、以前は国の負担が2分の1であったのに対し、現在3分の1に減らされている。これは、朝来市の予算に直接関係しないが、都道府県の負担が重くなることは、朝来市間接的な影響は避けられない。制度を元に戻すことは、朝来市の教育環境を整え、教育の質を向上させる意味で必要として、この請願を採択する審査報告が行われ、本会議においても、全会一致で採択しました。

産業建設常任委員会視察報告

愛知県豊田市

城跡公園「足助城」の復元によるまちづくりについて

5/7・8



▲公園整備とともに復元された足助城

産業建設常任委員会では、観光客が爆発的に増えている竹田城跡の観光及び城郭保存のため、城跡公園として復元された「足助城」と足助の伝統的建造物群の保存・整備について視察を行った。

足助地区（旧足助町）は、三河と信州とを結ぶ伊那街道（中馬街道）の中継地であり、物資運搬や庶民通行の要所として栄え、今も街並みには江戸時代中期から明治時代末までに建てられた建物が数多く残り、足助地区の34%を占めている。

この伝統的建造物群を保存・整備については、単に古い時代の建造物を保存するだけでなく、そこに刻まれた歴史や物語、文化を受け継ぎ、活用していくことを目的とし、平成22年には豊田市伝統的建造物群保存地区保存条例」を制定、地域でより豊かに暮らし、次代を生きる人たちが誇りと愛着を持てるまちにしていくための積極的な取組が行われている。

その中でも「足助城」は、旧足助町において、平成元年の

ふるさと創生事業と翌年の足助町制100年記念を契機に、真弓山城を城跡公園として整備したものである。この公園整備に当たっては、史実に基づいて山城を復元するための専門委員会が設置され、3箇年にわたり発掘調査が実施されている。城跡の区域内については、殊更に集客目的の施設を配することなく、まちづくりの一環として整備されており、近隣の三州足助屋敷」や古い街並みと併せ、旧足助町時代から、観光一辺倒でなく、足助の歴史を訪問客に知ってもらうことに重きを置いているようである。

委員会の意見

竹田城跡については、雲海に浮かぶ「天空の城」といったビジュアル面でアピールできたことが人気沸騰の一因と思われるが、今後も現状のまま推移するとは限らない。竹田城跡とその周辺地域の環境整備等に当たっては、城跡を観光地・資源として捉えるのか、旧足助町のように、まちの歴史、成り立ちを語る一助として捉えるのか、熟慮が必要である。城跡周辺を含め、観光

資源としての整備を推進することは理解するものの、同時に、文化財の保全、活用といった面から、文化財専門部局による発掘調査の実施など、中・長期的な取組を望むものである。

本年度は、朝来市において山城サミットが開催される。担当課では、同サミット事務局を朝来市に常設する等の提案を行う予定であり、全国の山城所在地を結ぶネットワークを充実させるとともに、竹田城跡を中心とする特区構想の検討も視野に取り組まれたい。

竹田城跡にとどまらず、これを取り巻く他の山城等の遺構についても調査し、訪問客や市ホームページにアクセスする人に対してさまざまな形で紹介できるような取組も有効であり、今後検討されたい。



▲足助の石垣・石組み階段と家並み

開かれた議会をめざして

朝来市では、平成21年4月1日に制定、施行した「議会基本条例」の第6条で「市民と議員が自由に意見及び情報を交換する議会報告会を年1回以上実施することとしています。今回で4回目となる議会報告会は、5月10日から29日にかけて、市内12会場で開催し、360名の参加がありました。(前回430名)

12会場で開催！

テーマ

- 総務常任委員会 『乳幼児・こども医療費助成制度について』
- 文教民生常任委員会 『温水プールについて』
- 産業建設常任委員会 『竹田城の有料化と周辺施設整備について』



▲糸井地区市民会館

報告会の進め方

報告会は、議長を除く18名の議員を会場ごとに6名のグループに編成し、3月定例会の内容を中心に常任委員会ごとにテーマを設け10分程度で報告。その後、参加者からの質疑、意見聴取とその応答を行います。

アンケート集計結果

説明の理解度、報告会に対する評価をいただくため、参加者360名にアンケートを配布し、229名(63・6%)から回答がありました。

このうち男性が202名(88・2%)を占め、年代別では60代(47・6%)が最も多く、次いで50代、70代の順に、50代以上が88・6%と大勢を占めました。

また、アンケートの回答数、回答率は前回に比べてともに増加しました。

(前回219名、50・9%)

アンケートの分析

●「議会報告会の説明内容はどうでしたか」の問いに、

「わかりやすかった」と173名(75・4%)の回答があり、前回(44・7%)より大幅に伸びました。このうちコメントを記入したほぼ全員から「パワーポイントの活用を評価し、説明が的確及び適切な回答があった」などの回答がありました。

一方、「わかりにくかった」として、「文字が小さい」「一方的な説明」「画面の展開が早い」など8名のコメントがあった。

りました。

また、「どちらともいえない」として、「専門用語の解説」「議会側の具体的な対策案がない」など10名のコメントがありました。このほか、「スクリーンをもっと少し大きく」とのコメントもありました。

●「配布した資料はどうでしたか」の問いに、

「適当」77・7%(前回74・4%)、「不足している」10・5%(同20・1%)、「多すぎる」3・5%(同0・9%)、「未記入」8・3%(同4・6%)であり、配布資料は今回も納得の得られる準備ができたものと思われま。

●「説明時間について」の問いに、

「長かった」3・5%(前回5・5%)、「ちょうどよかった」85・6%(同77・2%)、「短かった」6・1%(同8・7%)、「未記入」4・8%(同8・7%)であり、前回と比較すると「長かった」が2%減少、「ちょうどよかった」が8%程度伸びており、10分の持ち時間を厳格に守った結果とパワーポイントの効果もあり、聞きやす

報告テーマ以外の参加者の主な発言

- 総務常任委員会所管
施設の維持管理(閉校小学校の跡地利用)など7件
- 文教民生常任委員会所管
新病院建設に対する要望など6件
- 産業建設常任委員会所管
家庭ごみの収集方法等への意見、就業対策等、有害鳥獣対策など13件
- その他
市長・議員の同日選挙、基金問題など11件

かったものと思われま。

●「議会報告会の開催回数について」の問いに、

「年2回以上」26・2%(前回29・7%)、「年1回」66・8%(同63・0%)、「開かなくてよい」4・8%(同3・7%)、「未記入」2・2%(同3・7%)であり、前回と比較して「年2回以上」が5%減少、「年1回」が6%伸びており、参加者に「年1回」が定着しつつあると思われま。

同時に、毎回参加者数に関係なく「開かなくてよい」が11名あったことは気にかかる。



▲かながせの郷(奥銀谷)

議会報告会を市内

報告会のテーマ、報告内容、資料等の作成も
常任委員会ごとに行いました！

●「議会報告会はどうでしたか(評価)の問いに、
「評価する」と138名(60・3%)が回答され、前回(55・7%)より若干上昇しました。
このうち、コメントを記入した41名から、「議会での議論の内容や意見がわかりやすく説明された」「市議会という身近に感じられないかと思うが、報告会を開催することにより、活動状況等がわかり、より身近に感じられる」「住民の意見要望を直接聴取する機会として効果がある」などの回答がありました。
一方、「評価しない」として、「市民全体が必要とするものではないのでは」「地域に関わる内容を中心的に報告されるなら会場毎に内容が変わってもいいのではないか」などありました。
また、「どちらともいえない」として、「形式の感じがした」「行政の役割、議会の役割がはっきりしていないのではない」「議会の今後の活動に関する報告を要望する」などのコメントがありました。このほか、「回答なし」として、「問題を説明するよりも解決策を説明してほしい」などの回答がありました。

アンケートの自由意見

17名から意見等が寄せられ、主なものは、①参加者が少ない(事前PR、施設環境、女性・若者の参集)、②質疑に対する対応が力不足、③報告会の質問に対する回答を、④報告テーマは参加者のニーズにあった項目を、などでした。

まとめ

●報告テーマ、あり方の検討
報告テーマの設定等は、改善を試みようとしたが、議会の機構問題などもあり、検討に十分な時間が必要である。新しい議会の検討課題として残る問題。

●周知方法の検討

参加者増について、アンケート意見のとおり、開催の周知の徹底、その方法の検討、開催方法も含め検討が必要。

●議会報告会そのものの検討

市民に報告会の趣旨も理解され、運営に大きな混乱もないが、市長主催の市民フォーラムとの違い、議会の本質的な機能の理解を図り、市民の意見の議会への反映方法を検討するなどの改善が望まれる。

会場別参加者数・アンケート回答数(人)

地区名	開催場所	参加者		アンケート回答	
		25年度	前年度	25年度	前年度
山 口	あさご・ささゆりホール	21	18	10	6
中 川	立協公民館	18	30	11	17
梁 瀬	さんとう緑風ホール	60	69	23	30
与布土	与布土コミュニティセンター	23	19	13	5
栗 鹿	栗鹿地区農村環境改善センター	23	24	19	9
糸 井	糸井地区市民会館	33	52	19	29
和田山	和田山ジュピターホール	36	51	31	30
東 河	東河地区市民会館	30	37	22	32
大 蔵	大蔵地区市民会館	20	23	16	12
竹 田	竹田地区市民会館	19	27	15	16
奥銀谷	かながせの郷	28	26	15	16
生 野	生野マインホール	49	54	35	17
計		360	430	229	219



▲和田山ジュピターホール



▲立協公民館

11議員が登壇！

市政を問う

6月24日(月) 3名
25日(火) 3名
26日(水) 5名



朝来市議会では代表・一般質問は答弁を含め1人50分以内となっています。内容は各議員が500字程度にまとめたもので、質問順に掲載しています。紙面の制約上、質問・答弁とも要約されています。

○大学入学支度金制度

問 特区(構造改革特別区・農業特区)を取得しても、朝来市の農業を守るべき。
答 現実的解決ができるよう、十分協議する。

問 朝来市において有害鳥獣による農作物被害は甚大なものがあり、農家に大きな打撃を与え農業の意欲を奪っている。市内の農業を守り、環境と国土を保全していくために、有害鳥獣対策をいっそう強化すべし。特に「限界集落」では困難な状況となっているので、既存の制度を見直し、地域自治協議会による対応等現実的な解決方法を工夫する必要がある。「限界集落」は国の制度の狭間に陥り、補助メニューに乗らない。中山間地である朝来市の現実を、解決する施策を早急に創設すべし。
答 地域自治協議会が有害鳥獣対策の事業主体になるためには、猟友会・県・JA等で構成する朝来市有害鳥獣対策協議会の承認・決定を受ける必要がある。



有害鳥獣対策の現実的な解決を

刈本 稔



▲有害鳥獣対策の金網

問 大学進学時における初年度費用は国公立大学で平均80万円、私立大学で平均130万円となっており、アパート・マンションへの入居費用も必要。将来の人材を育成するために、市独自の大学入学支度金制度を創設すべし。
答 有能な人材の育成・確保、若者の定着は朝来市の人口政策の重要課題。現在策定中の第2次総合計画の中で、真剣に検討する。

問 保育料の全段階における減額を進め、全ての家庭の子育てを支援すべし。
答 十分検討する。

問 大学進学時における初年度費用は国公立大学で平均80万円、私立大学で平均130万円となっており、アパート・マンションへの入居費用も必要。将来の人材を育成するために、市独自の大学入学支度金制度を創設すべし。
答 有能な人材の育成・確保、若者の定着は朝来市の人口政策の重要課題。現在策定中の第2次総合計画の中で、真剣に検討する。



「教育現場で何が起こっている」

木村 圭介

問 市内の学校で、何がしか問題があるなら、具体的に学校サイド、教育委員会は対応していますか。

答 生徒指導の対応をしています。教師方、特に担任が生徒と繋がっていくことが大切です。また、外部の関係機関を入れることは、生徒がそれで変容してくれるかが課題です。

問 現場では、教師はただ見ているだけの指導と感じますが、義務教育を受けている他の生徒の義務教育を受ける権利は保証されているのですか。

答 先生は手をこまねいている状態でなく、生徒指導の方針に基づいて対応しています。一人ひとりの課題にあった指導を工夫しています。

問 問題に対して、教育委員会と学校とのコミュニケーションはとれていて、同じ方向を向いて進んでいますか。教師は一枚岩になり、本気で頑張れる状態にありますか。

答 学校運営は、第一義的には、学校長、また教頭がトップです。教育委員会は、支援なり指導助言を行う

立場で対応しますが、学校の実態、方針は学校長が中心になり決めます。

問 教師が自信を持って指導に当たれないのはどうしてですか。教師に対し自信を持って動ける方策を示唆することが教育委員会の仕事と考えますが。

答 教師も非常に難しい時期で、毅然とした態度や姿勢が必要と考えます。

問 「平成25年度学校生活のお願い」が、最低限守っていけないなら、他の生徒の義務教育は守れない。夏休みまでに対応が必要と考えますが。

答 ルールが守れない生徒も毎年何人かいます。家庭訪問や声掛け・あいさつ運動で、改善するのが学校、教育委員会の方針です。



▲毅然とした態度で生徒指導に当たるべし！



TPP睨み、ドラスティックな農業改革を

中島 利信

問 先の総選挙で「聖域無き関税撤廃には断固反対、国益を守る」と公約していた自民党安倍首相は選挙に勝った途端に「日米首脳会談で、聖域なき関税撤廃が前提でないことが明確になった」としてTPP参加を決定した。しかし、元大蔵省（現財務省）で財務官等を勤め、「ミスター円」として有名な榊原英資氏は、1990年代に日米構造協議に携わった経験を元に「TPPは米国の主導。遅れて参加する日本は米国のルールを押し付けられるだけで何も得るものはない。日米構造協議では、僅か3分野の交渉だったが、米国の言い分を聞いたのが7割、抵抗できたのは3割に過ぎない。今回は21もの分野の交渉だ。今から参加して主張を通すことは極めて困難」と厳しく指摘…。私は、今更TPPの参加を云々する心算はさらさらない。

しかし、わが国の2010年の生産者米価は1ト当たり17・1万円、米価は3・1万円、約6倍の価格差だ。政府が言う生産効率の向上で太刀打ち出来るレベルの話ではない。関税が撤廃されると、日本農業は

壊滅的な窮状に陥る。殊にアメリカの思惑と交渉力は狡猾で容赦が無く、わが国の勝算は限り無く0に近い。こうした厳しい現実の中で、市は担当部局の組織強化を図り、北部農業技術センターや市場関係者など専門機関と連携を深め、消費や貿易の動向を的確に把握して、将来を見据えた農業のドラスティックな構造改革を進めることが急務だ。

答 ご指摘のとおり、わが国農業の厳しい状況を十分に認識し①農業の6次産業化を目指した朝来安心ブランドの確立、②昨年度から実施の人・農地プラン、③今年度から本市単独で取り組む優良和牛維持確保事業など、本市農業の抜本的な構造改革を一段と強めて参ります。



▲丹精込めた手入れですくすく伸びる水稻。TPPの参加がこうした苦労を台無しにしてしまう危険性が極めて高い。



「木の駅プロジェクト」の推進を！

太田 則之

問 薪ボイラーの設置で間伐材のエネルギー利用としての需要を作り、土日林業家を育て、森林整備とエネルギー自給率UPには、策定済みの「木質バイオマス利用プロジェクト」を早急に進めるのが一番だ。

答 クリーンセンター朝来事業所の一部を「木の駅」として利用できないかと検討している。有意義な実現を目指したい。

○南但ごみ処理施設が供用開始

問 排ガスが自主規制値を超えたので焼却炉を急停止させたのは、紙・プラ製容器包装の分別が計画の半分も進んでおらず、燃えやすいごみ(高質ごみ)が高温で燃え過ぎることに起因すること。分別を徹底すべし。

答 さらに分別の必要性を啓発し、その推進をお願いして参る。

問 収集の両市一本化の進捗状況は。
答 課題も山積している。今しばらくの時間を欲しい。

○リピーターとしてお越し頂く為に

問 竹田城跡の観光については、来年度でかなりハード的には整備される。そろそろ目指す観光地の将来計画を定める時期に来ている。

答 竹田地域を中心とする本市全体の観光客の受け入れを考えたい。

問 山城の郷から中腹駐車場までの林道城山線の歩車分離は急務だ。

答 一般車の車両進入制限、天空バスの利用促進等々検討している。



▲竹田城跡への歩車分離は急務！
ところどころにある散策道を活用できないか

※前号で掲載の写真に誤りがありました。正しくは竹田きづかい協議会による事業です。



和山中学校の状況について

吉田 俊平

問 荒れているとの認識はあるか？
答 一部の子どもたちがルールを守れない、また保護者、そして学校の先生方の指導に従わない事象がございます。

問 義務教育の義務は第一義的に誰に課されているか？

答 教育基本法第4条また学校教育法22条からも、保護者に課されていると認識している。

問 出席停止制度とは？

答 性行不良であって他の児童生徒の教育に妨げがあると認める児童生徒があるとき、学校の秩序を回復し、事態の悪化を防いで正常な教育活動や安全を確保するために行われる。

問 出席停止を行うには手続きに関する規則等が必要と考えるが、出席停止を行える環境にはあるのか？

答 通常は管理規則を設けるか、教育委員会の文書による通知に基づいて行つかという事であり可能である。

問 生徒指導等に当たっておられる先生の精神衛生に注視する必要があると考えるが？

答 御指摘の内容にも充分承知しながら、今後サポートしていきたい。

問 場合によって出席停止を行うという考えはあるのか？
答 現場の先生方、あるいは学校長とも充分相談・協議した上で考慮していきたい。

○閉鎖工場従業員の再就職について

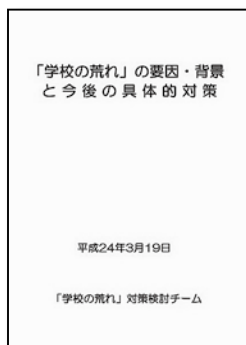
問 工場が閉鎖する企業の従業員の再就職が進んでいない現実があるが、市として今後どうするのか？

答 協議会での情報共有や市職員採用試験に向けて中途採用の検討を重ねていきたい。

○女性職員の登用について

問 女性職員を部長に登用する考えはないか？

答 女性の部長職の誕生に向けて職員にも一層の発奮をする機会を与えていきたい。



▲市教委も参考にすべき岡山県教育委員会の取組み

一般質問



子ども議会・ 子宮頸がんワクチン

上谷 廣志

○子ども議会の開催を

問 将来展望に立った教育を考えるときに、小・中学生、又高校生による子ども議会の開催を提案する。未来を託する子ども達が議会に臨むに当たり朝来市の現状を知り、将来を語ることが出来る貴重な体験となる。自己の将来に大変役立つものと確信する。

答 未来を担う子ども達にとって素晴らしい体験の場と考える。実現にむけてまず第1回を開催する。

○子宮頸がんワクチンの接種の歩みを止めるな

問 子宮頸がんワクチンを接種した女子中学生が体のしびれを訴えた事例のみを大きくとりあげ、頸がんの現状には一切触れなかった。専門家の意見も世界の趨勢も伝えなかった。**答** 全額公費助成の事業であり、接種率は85%と高い、ただし無料で受けられる定期接種であり、有効性と副反応について十分に説明し接種していただく。

○胃がん検診は採血によるリスク検診導入を

問 胃がんについて早期発見、早期治療のためにピロリ菌の有無を調べる血液検査方法で発見が出来る。検査が受けやすく、費用が安い、本日も胃がんリスク検診の導入を提案する。

答 より精度の高い方法で発見することが重要である。胃がんはピロリ菌があるとなりがやすく、リスク検診で早期に発見できる。導入にむけて検討を進める。



▲平成18年の子ども議会の様子



(株)SUMCO工場操業停止の 諸問題

能見 勇八郎

問 従業員の再就職の状況はどうか。

答 決定者は33%に止まっている。本市、商工会、県民局など関連団体と一緒に、さらに努力したい。市の次年度採用に特別枠を設けるか検討している。自営、起業志望者への支援も前向きに検討したい。

問 閉鎖する第一、第二工場はフェンスを張って現状維持と聞けるが、重要文化的景観の観点からならんかの活用策が必要でないか。

答 工場の跡地利用は白紙とのことであるが、会社と今後も接触を続け、再利用について真剣に協議したい。

問 現在会社が所有する日量9、500トンの工業用水は市として大切な資源であり、どう活用するか。

答 水利権は国に返上するとそれを再び得ることは困難であるが、利活用の計画がなければ譲渡は難しい。これを死守するため株SUMCO社と協議を重ねていきたい。

問 有栖川の宮の宿泊所「SUMCOクラブ」を寄附する意向があるが、

どう対処するか。

答 文化的景観の保存計画で重要な構成要素であり、十分保存、活用を今後検討したい。

問 元副鉱山長、元病院長の社宅であつた5号、6号社宅の解体計画があると聞けるがどうか。

答 正式な決定とは聞いていない。三菱マテリアル㈱と保存に向け協議し、理解を得たい。



▲SUMCOクラブ(旧松本林右衛門邸)生野3区



基金運用問題を
どのように締めくくめるのか

鈴木逸朗

問 仕組債商品の売却、解約で、基金の流動性を確保し、本来の「安全かつ確実」に管理する状況に「戒めとして長く語り継ぐ」とは何か。

答 市民の貴重な税。投機的な運用には厳に慎むべき。

問 一元して管理し、一括して運用する市基金条例の役割は変わるのか。

答 流動性は高まったが、もう一つの内部牽制機能を高める側面も。

問 提起した訴訟の今後の展開は。

答 訴えの取り下げの方向だが、相手の同意も必要。

○何を市の見解として残すのか

問 取り下げの場合でも、訴訟で提起した内容は維持されるのか。

答 法令上の運用制限違反、適合性原則違反、説明義務違反、指導的助言義務違反の4点は、市の考え方として変わらない。

○南但ごみ処理施設

排ガス基準値超過による運転停止

問 南但ごみ処理施設で発生した問

題、市民への公表は。

答 南但広域のホームページと、市の7月広報で。

○次期介護保険制度では
要支援1と2を除外？

問 次期介護保険計画について、国での検討内容は。

答 要支援1と2の認定者を（市内の認定者は766人）、給付制度からの切り離しが検討されている。

問 特別養護老人ホームの待機者は。

答 昨年6月で待機者の実人員は410人（うち在宅は221人）。

問 ヘルパーなどの労働条件は厳しく、特養だけでなく訪問介護でも待機者がいるのではないのか。

答 4月末の調査で15人ほどある。



▲訪問介護を行うホームヘルパー（市社協提供）



ミニボートピア設置に不同意を

岡田和之

問 伊丹市が、和田山町桑原区内にミニボートピア（場外舟券売り場）を設置する計画がある。地域経済に好影響はあるのか。

答 環境整備費や市税収入、施設周辺への経済効果など約1億7、500万円と試算されている。

問 年間約2億2、000万円がボートピアに吸い上げられ、疲弊した地域経済に追い打ちとなる。また、ギャンブル依存症に関わる弊害や周辺環境、教育環境に及ぼす影響など、経済効果だけでは測れないデメリットがある。市民から議会に、設置反対を求める要望書が提出されている。ミニボートピアの設置に同意すべきではないと考えるが。

答 施設内の警備や運営には特に問題を感じない。交通対策にも万全に対応とのこと。ギャンブルによる多重債務や家庭崩壊も耳にするが、仮に施設が出来なくても競馬や舟券などを購入している市民も多く、インターネットでも買える。それぞれが自己管理のうえで対応することが大切。設置を拒む理由はないと考えて

いる。

○住宅リフォーム支援事業の継続を

問 2年目を迎えた事業の評価を問う。また、来年度も継続する考えはないか。

答 初年度は補助金額の約27倍の経済波及効果があった。本年度も現在175件の申し込みがあり、経済効果は大きい。継続については要望が強ければ検討もやぶさかではない。



▲ミニボートピア滝野

一般質問



何かおかしくないか？
教育委員会

日下 茂

○教育環境の正常化を

問 教育現場で多種多様な問題が発生している。子どもがルールを守らないとのことだが、少数の教員の異常な行動も原因となっていないか。多くの子どもがいれば考え方、訴え方も違う。的確に掴み適切な対策を講じる点が忘れられていないか。

答 認識していない件はコメントを控えたいが、貴重な意見をいただき、気を引き締めて対応してまいりたい。

○高齢者の生きがいをいかに支援を

問 兵庫県は「敬老の日」誕生の地。しかし、まちづくりに長く貢献してきた高齢者の居場所が少なく生きがいを失っている。老人クラブも一部を除き活性化していない。指導助言や支援ができないか。

答 高齢者を敬う形で支援はしているが、地域自治協議会でも任務を担っていただく事も合わせ相応の支援をしていきたい。

○天空の城に更なる魅力的な整備で観光客の増加を！



▲展望テラスの整備が期待される

問 昨年の竹田城への観光客が約24万人。これは世界文化遺産「富士山」とほぼ同数で世界文化遺産登録後は急激に増えている。「富士山」は毎日、姿が変化する事に魅力が有る。竹田城の魅力は雲海である。対岸側に展望テラスの整備も必要。恋人の聖地も付加価値を上げられる。市内外の飲食施設、宿泊施設、観光施設への誘導営業も大切である。発想の転換も必要と考える。

答 しっかりと努力しつつ、一層きめ細かい対応を心がけ、竹田城、市内の観光の発展を図りたい。恋人の聖地も女子力の発想を期待したい。



介護予防と、仕組み債について

丸尾 行子

○待機者と介護予防について

問 入居者と待機者の皆さんは等しく介護保険料を納めています。しかし自宅待機者の皆さんは介護を受ける権利が保障されていない、この不公平に対する市長の考えを伺います。

答 朝来市の介護施設は全国的にも高い位置にあるが待機者は増加している、不公平感はある。

問 民間が介護保険対象外の介護予防事業の取り組みをしようとする時、全面的に支援するのですか市長の考えを伺います。

答 重症化を防ぐ介護予防は今後重要な課題となる。いろいろな支援、協力はしていく。

○仕組み債購入問題について

問 因って来る原因は何であったのか。今日まで統一した見解が出されていないので伺います。

答 原因は、一役職職員の安易な誤信の基、充分な運用体制やリスク体制もないまま、仕組み債の取引を拡大させたこと事態が看過出来ない落



▲介護予防(ミニディの様子)

ち度、また公金管理委員会の形骸化、確実、誠実に機能しなかった事です。

問 今後の再発防止策はどうなるのですか伺います。

答 一人の権限に集中する事無く、複数の者が関わる運用体制のリスク管理体制を構築する。

最後に一言 このような危険な商品を自治体として「投機してはいけない」と戒め、朝来市の今後の教訓として、しっかりと気を引き締め、再発防止に努めて頂きたい。

組合議会事務局設置条例の制定、平成24年度繰越明許費に係る歳出予算の繰越し、監査委員の選任同意など審議され、いずれも可決されました。

組合職員の給与の臨時特例に関する条例の制定、高規格救急車及び救急用資機材の取得についてなどが審議され、いずれも可決されました。

産業建設常任委員会

所管事務(陳情)調査

調査事項

(仮称)ミニポートピア朝来

設置計画について

(仮称)ミニポートピア朝来は、設置者が既存施設の改修・管理を行い、競艇事業の施行者(伊丹市)が、設置者に施設の賃料を支払い運営するもの。

委員会では、6月7日、ミニポートピア滝野の施設の实地調査を行った。

更に6月12日、経済振興課並びに設置者の担当から説明を受け、質疑を行った後、委員相互の意見交換を行った。

委員会における主な意見

意見交換では、敢えて設置に反対する理由に乏しいとみなす意見が大半であった。

しかし、委員会として決定すべき事項ではないことから、意見の主なものを次に掲げる。○施設は、警備員や清掃員が常時配置され、風紀上の問題、施設内外での問題はない。仮に朝来市に設置されても、これらの面で問題なく運営可能なら、候補地を現状のまま置くよりは望ましい。

○建物の外観は、市景観条例等に留意して整備し、ミニポートピア滝野の外観は白が基調で派手さはなく、周辺環境も良好。環境に配慮されることは当然であり、この点はクリアできると思われる。

○候補地の店舗がミニポートピアに変わること、直ちに周辺に影響が及ぶものではなく、懸念の程度はごく小さい。

○今回の施設設置計画は、朝来市が自ら誘致したものではなく、伊丹市が申し込み、これに係る手続として、市長、市議会の意向を確認するもの。

地元区に反対の意思はなく、市長が伊丹市との行政協定に応ずる状況なら市議会の意思として反対する理由に乏しい。

○競艇事業は公営事業で朝来市が誘致したものではないが、まちづくりの手法として、設置は望ましくない。設置に市長は同意してほしくない。

※ミニポートピア開業に反対することを求める要望書(466名署名)が提出されたが、委員会として決定すべき事項でなく、意見交換のとおり、設置に反対する理由に乏しいとみなす意見が大半で、採択の可否を諮った結果、賛成少数で「不採択すべきもの」と決定した。

特集 輝け!! 朝ガール

音楽は楽しく心ときめくもの

～和の音を奏で心を一つにする～

朝おきたら窓を開け、新しい空気を吸う
そして、いつもの一日がはじまる…
そんな毎日の中、それぞれのペースで箏や三味線を楽しむ

「音がさね わのん」はひとつの音(neon)を大切に、和の音を奏で、みんなが輪になれる音を奏でるーそんな思いを込めた名前です。

お箏(こと)を中心にいろいろな楽器、いろいろな方と音を重ね、思いを重ね音楽を作っていきたいと思っています。



▲演奏活動の様子

音がさね わのん

お箏は思ったよりカンタン! すぐに音が出ます。
お三味線は音色が心弾みます。
子どもから年配の方まで活動している会ですので、気軽にのぞいてみてください。
楽器をひくのは楽しいですよ。
体験してみませんか?

連絡先: 672-0877 北垣かおりさんまで

最近、紙芝居や絵本のBGMの演奏にも取り組み、改めてお箏の奥深さ、楽しさを感じています。
お箏は日本の伝統楽器で古典的な演奏も大切にしながら、新しいことにもチャレンジして、お箏を身近な楽器に感じてもらうように心ときめく音色を多くの人に、そして次の世代にも広めていきたいと思っています。
和の音が朝来市のあちこちで流れていたらいいなあ、という夢をもちながらワクワクする音を目指して今日も一日が始まります。